



# 令和4年度 成人式

1月9日（月・祝）、大磯プリンスホテルで、成人式を開催し、対象者282名、当日参加者231名が大人の仲間入りをしました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、大磯地区・国府地区の2部制で開催し、新成人たちは、少し緊張した面持ちで式典に臨んでいましたが、恩師からのビデオメッセージの上映や、友人たちとの旧交を温めにぎやかな式になりました。

成人式という大きな節目を迎え、気持ちを新たに、一人ひとりが自分の夢や希望に向かい歩み始めました。

## 「大磯町成人式について」

民法の改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳となりました。町では、心身ともに成熟した大人としての責任や判断ができる人を成人ととらえ、検討した結果、成人式の対象年齢を20歳とすることを令和2年6月に決定しています。

また、名称については引き続き「大磯町成人式」とすることを令和4年3月に決定しています。

問 生涯学習課 ☎内線323

## 新成人記念のつどい実行委員会

委員長 秋澤 周

本日は私たち新成人のためにこのような盛大な式典を開催していただき誠にありがとうございます。

これから私たち新成人は、社会人としての一步を踏み出していくこととなります。早い方であれば、すでに社会人として出発している方もいるかもしれません。

そこでは、今までよりはるかに精神的につらい場面に出くわすことがあり、逃げだしたくなるようなときが来るかもしれません。そんな時、どうやって乗り越えたらよいのでしょうか？私は今日この成人式という場を借りて二つほど対処法を紹介したいと思います。

一つ目の対処法は、「精神的に悩んだら、考えない」ことです。私は友達から心無い言葉をかけられたりすると、何回もその言葉を思い返して落ち込み続けることがあります。多分、ここにいる大勢の新成人にこういう体験があるのではないのでしょうか？よく考えてみてください。私たちは外傷的な傷に対して絆創膏を貼ったり、病院に行ったりして、特に考えることなく傷を治します。それにも関わらず、心に負った傷に対しては、一度は「大丈夫！何とかなる」と考えて乗り越えようとするのに、ふとあるたびに「つらい記憶を思い返して、傷口をさらにえぐり続けます。外傷的な傷はすぐに治るのに、精神的な傷はなぜすぐに治らないのでしょうか？それは傷口をえぐり続けるからではないでしょうか？心無い言葉をかけられた状況を思い出したとしても解決にはつながりません。であれば、「つらいことがあっても考え続けない」という方法が最も効果的なのではないでしょうか？

もしこれが難しいという方は、二つ目の方法を実践してみてください。それは「大磯の友人・家族に相談する」という方法です。どうしてもつらくなったり、心が折れそうなきときは大磯の友人・家族を思い出してください。あなたが苦しくて、誰かに

対してきつく当たっていたとしても、必ず寄り添ってくれます。どんな時でも受け入れてくれる大磯町はとても温かい存在です。

最後にありますが、本日、成人式の開催にご協力いただいた青少年指導員さん、大磯町役場の方・恩師の先生方・その他関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。

